

設置店募集!

2024



遊んで、
学んで、
楽しんで!

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

VOL. 42

特集

センス・オブ・ワンダーが つむぐ未来

エッセイスト

レイチェル・カーソン日本協会 会長

かみとおけい こ
上遠恵子

Nature Game No.188

流れゆく雲の移り変わる様子を味わう〈雲見〉

Nature Game No.106

フレーム片手に自然を切り取る〈森の美術館〉

<https://www.naturegame.or.jp/>

Contents

- 特集/センス・オブ・ワンダーがつむぐ未来… p2
- ネイチャーゲーム×STEAM教育… p8
- 自然と遊ぼう! ネイチャーゲーム〈森の美術館〉… p10



「自然が好き」で世界を変える
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツクル



スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています

センス・オブ・ワンダーが つむぐ未来

「センス・オブ・ワンダー」

この言葉を知っている人は、多いのではないのでしょうか。

これは、「神秘さや不思議さに目を見はる感性」

（『センス・オブ・ワンダー』p.23）を意味し、

アメリカの作家で『沈黙の春』を著して

環境保護運動のきっかけを作った

レイチェル・カーソンの代表作として広く知られています。

彼女の著作を翻訳し、その思想や自然への愛情を

多くの人に伝え続けてきたのが上遠恵子さん。

94年目の春を迎えた上遠さんの目に今映るものや、

「自然」と子どもに向き合う大人たちに

伝えたいことを伺いました。

東京薬科大学卒業後、東京大学農学部農芸化学科研究室勤務、学会誌編集者を経て、1988年にレイチェル・カーソン日本協会を設立。レイチェル・カーソンの研究をライフワークとし、「海辺生命のふるさと」「潮風の下で」「センス・オブ・ワンダー」などレイチェル・カーソンの著書の翻訳を多数手がける。



エッセイスト
レイチェル・カーソン日本協会
会長
かみとおけいこ
上遠恵子

特集 interview

歳を重ねても鮮やかな 自然との記憶がよみがえる

待ち合わせた喫茶店で、穏やかにほほ笑んで迎えてくれた上遠さん。お店がある田園調布に、幼少期からずっとお住まいだそうです。

「生まれたのは、もう少し駅近だったんですけども、4歳のときから今の家に住んでいます。昔はとても自然豊かで、母の話ではイタチもいたそうですよ。今、多摩川の近くでマンションがあちこち建っているところにも田んぼがあったし、カエルやトンボ、ホタルもいて、とても素敵だったんですよ。

もう少し暑くなる頃には、田園調布でもね、フクロウが鳴いていたんですよ。夏の夜に、母がね『ホロ助、呼んでみようか』って言うの。両手を組んで息を吹き込み、ホーホーってすぐ上手にやってくれたものです。明かりを全部消して、息をひそめて、縁側にしゃがみ込んで待っていると、庭の木にやってくるんですよ、本当に。

『バサッ』なんて音がすると、幼かった私は、もう、ものすごくドキドキしてね。おそらくそれはアオバズクで、あまり大きくはないのだけど、そのときは絵本に描いてあるような、大きなフクロウがいると思って、も



う、とにかくすごい高揚感でね、今でも思い出しますね」
そう、少女のように目を輝かせ、原風景を語る上遠さん。『センス・オブ・ワンダー』に出会う前から、その感性は育まれ、今もみずみずしくあせないままです。胸にはフクロウのブローチ——ずっと愛着があるのかもしれない。

ページをめくるたびに、目の前に豊かな自然の情景が浮かぶ『センス・オブ・ワンダー』。レイチェル・カーソンの言葉が心地よくそして温かく響いてくるのは、レイチェル・カーソンと同様、自然に触れ、親しんできた上遠さんの生い立ちから紡ぎ出された「日本語」があるからこそ。
「レイチェル・カーソンさんと育った境遇がどこか似ているところもあって翻訳に携わってきたんですけど、私の英語力なんて胸を張れるものではありません。戦時中、英語は敵国語として禁じられていたんです。

私の世代は、英語教育はほとんどされていませんでした。だから、英語の本を訳して、なんて言われたって……七転八倒ですよ。

でも、カーソンさんの思いを伝えなきゃ、多くの人に読んでもらわなきゃ、ただひたすらその一心でしたね。そして、声に出して読んだとき

にも美しい日本語であるように、と思いつながら訳してきました。あとになって、意識が過ぎるのではないかと言われたこともありましたがね。

『センス・オブ・ワンダー』は読んでいて本当に、そうよね、わかる、わかる」と思うところが多かったのね。翻訳の作業は大変でしたけれど、カーソンさんと対話しているように、とても楽しかったです」

人工的な社会によって 失われてしまうもの

子どもの頃の自然体験、そしてそこで出会う美しさや神秘さ、呼び起こされる感激、興奮、驚き、畏れは、その人の感性をかたちづくり、時を経てよみがえる——。

上遠さんが「伝えなきゃ」と感じたレイチェル・カーソンの思いの一部です。翻訳本は、出版されてから30年以上たつ今も、多くの人に読み継がれています。

一方で、まだまだ伝えなければと感じる、今を生きる子どもたちの姿については……。

「あまりにも、子どもたちが自然と分離していますね。子どもたちは、ひとたび森の中に入れば、実にいろいろ工夫して、遊びを考え出すもの



です。そうした能力が備わっていま

けれど今、遊ぶといえはゲームばかりでしょ？ 二、三十年前、私の孫が小さかったときには、もうゲームが浸透していたけれど、飽きてくると外に出て遊んでいたんです。まだ、そういう時代でした。

今は次から次へと新しいゲームが作られて終わりがありませんよね。おもしろいのももしいないけれど、自分であえてみよう、こうしてみようという実験がない……。それは子どもにとって不幸なことだと思っんです。ゲーム漬けの子どもたちが大人になって子育てをするようになったら……。そう思うと、とても心配です」



戦争は、自然も人の心も壊してしまおう……。決して、してはいけないこと

そして、また別の危機感を上遠さんは感じています。

「電車に乗ればみんなスマホを見てるでしょ。あれは不気味ね。地下鉄ならともかく。外の景色を眺めて、街の中でも夕日がきれいだな」って、そんなこともしないで、みんなうつむいている光景は怖いですよ」

「今はロシアにしてもイスラエルにしても、なぜ戦争なんてしているんだらうと、腹が立ちますね。自分の経験を思い出して、嫌になります。この辺りも、空襲でずいぶん焼けたんですよ。うちの近くの畑にシユルって焼夷弾しょういだんが落ちてきて、土に刺さってボーボー燃えてね。幸い、家は燃えませんでしたけれど、

でもどこでも快適であること、手軽に興奮が得られること、これらを追いつめる社会は日常の景色をどんどん変えていっています。

子どもたちの感性を乏しくさせてしまふのでは、と上遠さんは警鐘を鳴らします。

「利便性のためではなく、自然と調和することに知恵やエネルギーを使うことはできないでしょうか。どんなに技術が進み、経済が発展したって、地球が減びちやたらおしまいでしょ？」

「ときどき教会の日曜学校に行くのですけどね、あるとき、子どもたちが、クチナシにいたオオスカシバの幼虫を一生懸命見てね、おもしろがっているわけですよ。

私は子どもたちと一緒に『これきれいだね』『サナギのときは土の中にいるんだよ』なんて話をしていたんです。そうしたらお母さんが来て『キヤーツ、汚い！ 怖いからやめなさい』と言っわけです。

そんな、かわい子ぶって何を言ってるの？ と思いましたよ。けれど、そう言うわけにもいきませんから、刺しもしないし、子どもはむやみに触らないから大丈夫ですよって言ったんですけどね。

虫が怖いとか、汚い、土はバッチイから触るな、なんて子どもに伝えてほしくない。土はいろんな生命を育んでいるのに……。『おもしろいね』『これ、よく見てみようか』って親が楽しめば、

子どもと自然体験をするときに、そばにいる大人の在りたい姿について上遠さんは続けます。「大人、とくに私のようなじいじ、ばあばの世代は、子どもに教えるべきやらないって思っちゃうところがあるのね。それはね、反省しなきゃと思っています。『虫や植物の名前を知らないから教えられないんです』、なんて相談を受けることもありますけど、私はいつも、教えずにいいのよと答えま



名前を教えるよりも『いいにおいね』『ふわふわしているね』と感覚と一緒に楽しむほうが、結局、子どもの記憶には残るんです。そして大人は子どもの興味や関心を共有して、今度調

子どもと自然体験をするときに、そばにいる大人の在りたい姿について上遠さんは続けます。「大人、とくに私のようなじいじ、ばあばの世代は、子どもに教えるべきやらないって思っちゃうところがあるのね。それはね、反省しなきゃと思っています。『虫や植物の名前を知らないから教えられないんです』、なんて相談を受けることもありますけど、私はいつも、教えずにいいのよと答えま



あんな恐ろしいことはありませんでした。

本当に、戦争が一番ひどい環境破壊。環境だけじゃなくて、人間の心まで傷つけてしまふ。戦争から帰ってきた方が、戦争の話は一切しなかつたという話を聞きますけれど、それは修羅場を見てしまっって、口にできなかったんだと思っんですよね。

だから、もう絶対、平和じゃなきゃいけないと思っますね。8月15日、あの日の入道雲ってというのは忘れられないですね」

命を軽んじるような世界であってほしくない。それは、戦争を経験した私の遺言のようなものです、と上遠さん。

「だから、ネイチャーゲームのように五感で自然に触れたり、土や生きものに親しんだりする経験を、子どもたちにはたくさんしてほしいんです。

なにも自然いっぱいのところに出かけなくたっていい。道端に伸びたツクシヤ、タンポポの綿毛が飛んでいくのを見たり、サナギが羽化するのを見たりしてね。そうすると、自分以外の生命がこの地球上にた

べてみよう、って誘うことがあってもいいんじゃないかしらね。大人は大変だけれども、本当は毛虫が怖くても、子どもと一緒に調べることもいい経験になりますよ」

自然体験で培われたセンス・オブ・ワンダーは「これ、なあに？」もっと知りたい！の源です。たくさん情報を手に入られるようになったとしても、実際の手触りやにおい、耳を澄ませて聞こえた音、そのときに湧き起った

感動があつてはじめて、知識に血が通い、意味を持つのでしょ。

上遠さんは、子どもたちに成果や結論を早く求めすぎないでほしい、と願っています。

「若いお母さんたちと話をしたときに、『自然体験をさせるとどんな

いいことが身につくんですか？』と聞かれることがあります。いいことが身につくとか、賢くなるとかって、そんな自動販売機みたいにガチャンと出てくるものではないんですよ。

いろいろな体験を積み重ねて身につくものであつて、『そんなに急いじゃダメですよ』って言いました。子どもには子どもの時間がある。大人はそれを忘れてはいけませんね」



くさんいるということを知らんですよ。

小鳥や生きものを飼っていると、死んでしまふこともありますよね。『もつ戻らないんだ』と、子どもはウエーン、ウエーンと泣く。そのとき感じた気持ちを大事にしてほしい。命に対する畏敬おその念を持たないまま大人になったら恐ろしいですよ」

子どもを通して、親も感性を取り戻す

『センス・オブ・ワンダー』の中でレイチェル・カーソンは、子どもが自然に触れるとき、喜びや感動をわかちあう大人が必要であると述べています。上遠さんは、子どもとの向き合い方をこう語ります。

いろいろな感性があることを子どもたちに知ってほしい

子どもは一筋縄ではいきませんよね、と上遠さん。

「反発したりするけど、大人がおもしろがっていると、やっぱり子どももおもしろがってるのよね。子ども同士でね『うちのお父ちゃんね、この虫知ってたよ』なんて、親が一生懸命教えているときは知らん顔してくせに、友だちにはね

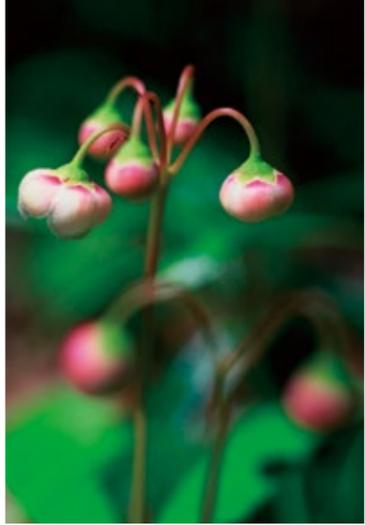
親が話していたことを自慢してたりするの。ときに心にもないことを言うこともありますしね。

ずいぶん前の話になるけれど、遠足から帰ってきた見知らぬ子どもたちに、『どこに行つたの？ ドング



リ拾つたの？』なんて声をかけたんです。そうしたら『ほくたち、そんなネクラなことしないよ』って。

当時、ネクラという言葉がはやっていたんです。だからそんな生意気なこと言うんですけど、『ポケットにはドングリがいっぱい入ってるじゃない！』って言いたかつたんですけどね。自然の中で『つまらない』なんて言っても、本心は楽しんで



たりする。大人は子どもの様子をじっくり見ることも大事なんじゃないかな。そして、子どもたちに自分の感じたことをどんどん言わせてあげてほしいですね。近頃の子どもたちに『これ、なあに?』と話してもなかなか返事がない。間違えたら……、人と違ったら……と答えられない。突拍子もないほうがイキイキするものでしょ? 感じたことをしゃべ

くさんの人に愛されて、いまだに読み継がれているというのは、そこに命の素晴らしさが詰まっているからだと思います。この本は、自分の心の在り様や、年齢によって共感する言葉が違うのもおもしろいなと思うんです。私



本当に
しあわせな本に
なりました

らせて、いろんな感性があるんだというだけでも、子どもたちに知ってほしいですよ

『センス・オブ・ワンダー』の メッセージを次世代に

『センス・オブ・ワンダー』は毎年版を重ね、70刷を数えます。『本当に幸せな本になりました。た

が今、この歳になって、本当にそうだな、いいなと思う節があります。——地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、生命の終わりの瞬間まで、生き生きとした精神力をたもちつづけることができるでしょう。

鳥の渡り、潮の満ち干、春を待つ固い蕾のなかには、それ自体の美しさと同時に、象徴的な美と神秘がかく

されています。自然がくりかえすリフレイン——夜の次に朝がきて、冬が去れば春になるという確かさ——のなかには、かぎりなくわたしたちをいやしてくれるなにかがあるのです——(同書p50)

来年のこの季節を迎えられるかどうか、わからない年齢ですからね。しみじみと感じています。この頃はね、カーソンさんに『そのうち行くからわかるようにしてね』って言うてるんですけどね。もう天国にはいつぱい人がいるから、会うのが大変じゃない? まず両親やきょうだいに『やってきたよ』って話してから、カーソンさんに会いたいなと思ってるんです。うまくいくかわからないわね、と笑う上遠さんに、『カーソンさんは、日本中に『センス・オブ・ワンダー』を届けてくれてありがとうって、まず最初に会いにくるんじゃないですか?』と伝えると、『そう言うてくださるといいですけどね』とやさしく笑ってくれました。

『子どもたちには、本当にネイチャーゲームのような自然体験をたくさんしてほしいんです。そういう経験をした子どもたちがね、あちこちにいってくれたら、心強いですよ。そのまま自然に興味をもつ大人になつたら素敵ですけど、まるっき

NATURE GAME

〈雲見〉

静かに雲を眺め、しばらく目を閉じ、そして目を開ける…流れゆく雲の移り変わる様子を味わい、いつも私たちを包んでくれている空の「今」を感じましょう。



保育・幼児教育をはじめ 子どもの未来を支える 現場のみなさんへ

ようこそ!

センス・オブ・ワンダーの世界へ

虫や植物の名前を
教えなくてもいいのよ

『ネイチャーゲームリーダー』になって
センス・オブ・ワンダーがあふれる世界に
子どもたちと一緒に飛び込もう!

自然にふれて
湧き起こった感動が
知識に血を通わせる

子どもには子どもの時間がある。
それを忘れてはいけませんね

子どもたちに成果や結論を
早く求めすぎないで

子どもと一緒に
感覚を楽しむ

子どもの様子を
じっくり見ることも大事

受講者数延べ
4.5万人

ネイチャーゲーム リーダー養成講座 全国で開催中!



←開催予定は
こちら

受講者
満足度
99%

Get!

今年度の講座修了時に配布する『公認ネイチャーゲーム指導員報2024 自然とわたし』は、幼保分野に注目! 0才からの活動、保育園幼稚園での実践のポイント、そして幼保小連携の話題が登場します。

うれしい3ポイント

ネイチャーゲームリーダーになると

ポイント1 五感を使って、自然を深く体験することで
あなた自身の感性も目覚める!

ポイント2 自然の中で、子どもによりそい、
心をつかむコツが身に付く

ポイント3 園庭や近所の公園の自然遊びが変わる
60種類の自然遊びマニュアルが手に入る!

子どもたちの
命に対する畏敬の念を共に育みましょう。
私たちもお薦めします。



日置光久
日本シェアリングネイチャー協会
代表理事
元・文部科学省視学官



上遠恵子
レイチェル・カーソン
日本協会 会長

ネイチャーゲームは、1979年にアメリカのナチュラリスト、ジョセフ・コーネルによって発表された活動です。登録アクティビティは180以上! 「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を使った自然遊びを通して、四季折々に子どもと大人と一緒に自然とふれあうことができます。

あなたの園を認定園に!

ネイチャーゲーム認定園制度があります

リーダーが2名以上
在籍する園を認定
しています。詳しく
はこちら。



まずは
体験!

参加費無料!

「自然が好き」で、
子どもたちの目が輝く!
オンラインで学ぶネイチャーゲーム
2024年8月24日(土)
19:30~21:30 他



無料体験会情報

ダンゴムシを育てる環境の デザインを通して、 生態系についての学びを深める

S
T
E
A
M

Science
Technology
Engineering
Arts
Mathematics



ぐんじ よしゆき
郡司 賀透

静岡大学大学院教育学領域准教授
静岡大学STEAM教育研究所副所長
静岡市環境教育推進会議議長
ネイチャーゲームリーダー

茨城工業高等専門学校、長岡技術科学大学工学部卒業後、筑波大学大学院教育研究科修了。つくばエキスポセンター勤務。筑波大学大学院教育学研究科に入学し直してから、郡山女子大学短期大学部講師、准教授。保育者・子どもを対象にした自然活動を行う。2013年10月より現職。博士（教育学）（筑波大学）

STEAM教育とは、科学・技術・工学・芸術・数学などの手法を駆使して、子どもたちが、今そこにある課題を発見し、解決する力を育む考え方のこと。
どのように実践でいかしていけばよいのでしょうか？

子どもは幼児期からずっと 実験をしている

ところで、私たちはみんな、「赤ちゃんのときから科学の眼差しを持つ探究者」であるといわれることがあります。ハイチエアに座ったり乳母車に横たわったりしている赤ちゃんは、大人が物を拾い、赤ちゃんに物を返してあげると、何度でも物を落とします。見方によっては、赤ちゃんは繰り返し「実験」を行っているのです。

乳幼児の時期から私たちは、多かれ少なかれ自然を体験しています。

先日、子育て世代の知人から「大人もSTEAM教育について勉強したほうがいいんですか？」と言われました。私も同じ疑問を抱いたことがあります。私は、STEAM教育は、生涯の中で特に子どもの時期に課題解決力を育むための「大人からの働きかけ」と捉えています。また生涯学習の視点から見ると、大人を対象にしたとき「教育」の語感は、しっくりきません。そのため、子どもと関わる大人には、「STEAM的な学び」とか「STEAM的な考え」を持ってもらいたいと伝えています。

のその先へ

ネイチャーゲーム

STEAM教育

「自然が好き」

今回はその自然体験を、子どものSTEAM的な学びに発展させた優れた実践事例を紹介しましょう。

静岡県内にある「ふじのくに地球環境史ミュージアム」のインタープリターである山根真智子さんが、小学生を対象に2020年8月22日に実施したプログラム『土と生き物のすみか』です。プログラムの主人公は、幼児のときにはおなじみだったダンゴムシ！

はじめに、児童は身近にある土グランド、花壇、森）について感覚を通して調べていきます。児童は、においや粒の大きさ、色が違うことを発見したり、土に含まれている種や枯れ葉などの違いに気づいたりします。

つぎに、その環境にいるダンゴムシについて3つのミッションに取り組みます。

- ①ダンゴムシを捕まえる
- ②ダンゴムシを飼うために必要なものを採集する
- ③ダンゴムシのいるところといないところの環境の違いを調べる

といった活動です。その後、みんながダンゴムシ会議を行い、ダンゴムシが好きな環境、苦手な環境をまとめます。

ダンゴムシの観察を通して 試行錯誤し学びを深める

さて、ここからSTEAM的な学びが始まります。はじめにスマホ顕微鏡を用いてダンゴムシの観察を行います。足や節、触覚の数や雌雄を観察したあと、各々がダンゴムシのカッコいい、またはかわいいと思うところを写真で撮ります。これはA（アート・芸術）に相当する活動です。そのベストショットを理由とともにみんなで見合います。

それから、テラリウム（ダンゴムシの飼育ケース）をデザインします。この部分は、E（エンジニアリング・工学）に相当する活動です。テラリウムの中に、ダンゴムシを何匹入れるのか、採集してきた葉っぱや土などをどのように配置するのかが——これらをワークシートに設計図として描いていきます。動物が生きていくために必要なもの（水、食べ物、隠れる場所、休



STEAM



STEAM

む場所、生活空間）を意識しながら、児童は各々のアイデアでテラリウムを作って、それぞれ自宅に持ち帰り、継続的に観察していきます。

WEB上の情報共有サイトには、「ダンゴムシは夜行性と聞いたので、夜8時20分頃に観察しました。すると、とても元気よく歩き（走り）回っていました。動いているダンゴムシを久しぶりに見れて、とても嬉しいです」

「今日は5時20分頃に観察しました。3匹とも石の下にいました。やはりダンゴムシは石の下が好きなのかなと思います」

「煮干しを食べていたのでカメラで撮影しました！夜こっそり食べていたので



ら与えられたテーマが、子どもにとって「ジブンゴト化」された課題になりうるのか——議論の余地はあるでしょう。

しかしこのプログラムのポイントは、実は「デザイン」にあります。ダンゴムシを育てる環境のデザインを通して、子どもは幼児の頃に丸めたりして楽しく遊んだ記憶を想起しつつ、生きものが育つ条件を考えながら、試行錯誤しつつ生態系について学びを深めていくのです。

大人が「STEAM的な考え」、「STEAM的な学び」に基づく働きかけができるようになることで、児童の感性と課題解決力を育み、多様な学びを生み出していく。これは大人にとっても楽しいことだと思いませんか？

自然と遊ぼう！
ネイチャーゲーム

Naure Game No. 106

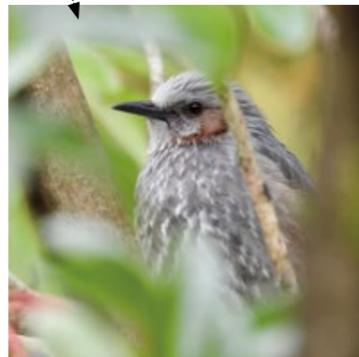
森の美術館

フレーム片手に
自然の感動を
切り取る

ユズリハの実を食べ
に来たひよっち（ヒ
ヨドリさん）を、そっ
と撮影



三条市グリーン
スポーツセンター
新潟県シェアリング
ネイチャー協会
鳥羽和明（新潟県）



葉っぱが
フレームになってるー
ステキ!!



おにぎりカードで
おにぎり作り!
どれも、おいしそう!

定番のおにぎりに創
作おにぎり。作品を
並べて、おにぎり専
門店オープン!

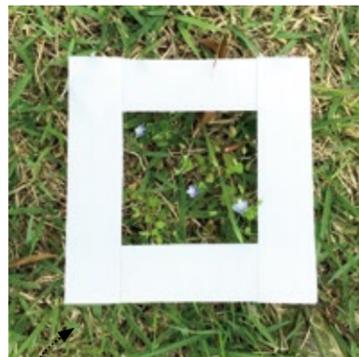


明星幼稚園
みまさか
ネイチャーゲームの会
柳 純恵（岡山県）

お手軽に作ったフ
レームで切り取られ
た世界はいつもと違
う感じ



とよた
ネイチャーゲームの会
浅岡厚志（愛知県）



フレーム
作りから
楽しめます!



こんなところに
大きなフレームが!!
行ってみたいなあ

建物の窓や柱の向こ
うの切り取られた景
色。強調されて物語
を感じます



シンプルィ・ショップ
山本真樹（静岡県）



〈森の美術館〉の
情報はこちら

読者プレゼント!

Present

応募締め切り: 2024年8月15日

アンケートに答えて
シェアリングネイチャーグッズを
ゲットしよう!

アンケートは
◆HPから
<https://www.naturegame.or.jp/>
◆メール・FAXでも
kawauso@naturegame.or.jp
FAX 03-5363-6013



メール・FAXの場合は下記をご記入ください
【アンケート項目】

1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(①/②/③) 6. ご意見・ご要望 7. 本誌をどこで入手しましたか?

何度でも
読み返したくなる
大切な一冊!

自然室内人の
必携本!



① 『センス・オブ・ワンダー』(新潮社) 2名様
上遠恵子さん翻訳の美しく暖かな言葉と、森本二郎さんの自然写真を通して、レイチェル・カーソンと未来への思いをわかちあう一冊。なんと! 上遠さんと森本さんのお二人のサインが入った特別版です。(日本シェアリングネイチャー協会提供)

おにぎり型の窓が
楽しいー
みんな大喜び!



② 着せ替えおにぎり3枚セット 10名様
本ページで紹介したおにぎりカードをプレゼント! ちよっとした時間に楽しめる3枚セットを、なんと10名の方にプレゼント。導入用のストーリーカードをダウンロードしてご利用いただけます。(264円税込/ネイチャーゲームショップ)

大人気
超便利



③ 森の美術館フレーム4種類セット 3名様
サイズ違いのフレーム4枚セット。素敵な風景を切り取って、あなたと自然の共同作品を楽しみましょう! 軽くて丈夫なポリプロピレン素材で、水洗いもできて、繰り返し使えるのも嬉しいポイント。(480円税込/ネイチャーゲームショップ)



まるで1枚の絵画や写真のような美しく輝く場面に出会ったときに、楽しみたいネイチャーゲーム〈森の美術館〉。フレームを使って、足元の草花や目の前の自然、視界に広がる風景を“切り取る”ことで、自然を楽しみ、シェアできます。

「あっ!」と思う自然に出会ったら、まずはフレームを置いて、「見て見て!」とできあがった作品を見せる……これだけで子どもたちは興味津々! 「花」だけでなく、「葉っぱ」「枝」「根っこ」など植物にまつわる作品もあれば、「アリの巣」「ぬけがら」などの虫たちに関する作品など、子どもたちは、そのイキイキとした感性で、次々と作品を作っていきます。家族と一緒に作品を作りながら歩くときには、変わりゆく自然の一瞬一瞬を切り取れるので、動き回る生きものたちにも作品に登場してもらえます。

フレームを使うことで、いつもの公園や散歩道はもちろん、旅先のキャンプ場や自然豊かな森が、みんなの美術館に! しかもこの美術館では、どの作品も「撮影OK」となっているので、ぜひ写真や動画に残して、思い出をお持ち帰りください。SNSなどを通した、仲間とのわかちあいもおすすめです。

華やかで都会的なイメージのある横浜ですが、異人館や港の見える丘公園では、たくさんのお木々の中で風を感じたり、色々な鳥の音が聞こえてきたりします。都会の真ん中でも、自然に浸る瞬間やホッと落ち着く瞬間があるのです。



プログラムの中で所々に挟まれるウェルネスタイムと、ガイドの新井利佳さんのステキな工夫の数々、そして参加者の皆さんとのわちあいが、いつもとは違う横浜の良さを感じさせてくれる1日になりました。

「異国情緒あふれる街歩きに参加して」
2024年5月18日
嶋典子(千葉県)



4月19日(金)新緑と清流の岐阜に全国から多くの仲間が集まりました。岐阜県からは、ネイチャーゲームクリエイション、木育、乳幼児のアクティビティを提案しました。翌20日(土)は、岐阜県立森林文化アカデミー／morinosで「第20回川と山のきふ」自然体験活動の集い、足るを知る」に参加し、各自が体験したことをわちあいました。ここでも、参加者の皆さんの発想で、ジェスチャーで仲間集めをするという新たな共有方法をわちあうことができ、とてもワクワクする2日間でした。



「インストラクター研修講座でわちあいの大切さを実感！」
2024年4月19～20日
日比千穂(岐阜県)



当日は相当暑い日でしたが、親子でじっくりとクラフトやアクティビティを楽しみながら、身近な自然を味わうことができました。被災した方々にとって、自然との触れ合いは心身のセラピーになると確信しています。



子どもたちとアクティビティを楽しむ

「参加者の笑顔が見たい」を実現！
今できること、石川県七尾市から
2024年5月21日
中村真由美(石川県協会)

被災地復興支援情報
能登半島地震からあつと言つ間の5か月がたとうとしています。当初は、日常短時間でできていた当たり前のことができず、トイレはバケツに水を汲んで流したり、洗濯は車で30分ほど離れたコインランドリーまで通うなど、苦勞の連続でした。そんな困難な状況の中、全国からたくさんの方々が救急、ライフラインの復旧、ボランティアなどの支援に来てくださりました。被災地に心を寄せてくださっている皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。



News

2024年助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。
■令和6年度スポーツ振興くじ助成事業
◆ネイチャーゲーム情報提供事業
(本誌を含むチラシ・パンフレット作成、及び情報提供)

シェアリングネイチャー奨励賞

【団体部門】(2023年度分)
優秀賞 徳島県シェアリングネイチャー協会

2024年度永年会員情報

当協会では、会員を永年続けてこられた方を表彰しています。
2024年度は

10年会員 143名	20年会員 218名	30年会員 86名

が誕生しました。6月に「記念バッチ」をお送りしました。

専門委員会報告

- 安全対策委員会…2024年2月7日(水) チャイルドプロテクション行動指針検討
- 安全対策委員会…2024年3月27日(水) 2023年度リスクマネジメント報告 2023年度ヒヤリハット報告の共有 チャイルドプロテクション答申 2024年度安全への取り組み検討
- 指導者養成委員会…2023年11月22日(水)
 - ◆人材育成計画についての検討
 - ◆講座講師認定カリキュラム変更
 - ◆コーディネーター養成の地域開催について
 - ◆2024年度指導員報の検討
 - ◆FS2024の講義テーマの検討 他
- 指導者養成委員会…2024年2月2日(金)
 - ◆人材育成目標人数についての検討
 - ◆全国研究大会後継事業の検討
 - ◆リーダーハンドブック理論編改訂についての報告
 - ◆チャイルドプロテクション関連の動きの共有 他
- 指導者養成委員会…2024年4月15日(月)
 - ◆委員長の選出
 - ◆リーダーハンドブック理論編改訂のための部会設置
 - ◆トレーナー認定講座一次審査
 - ◆昨年度事業および今年度事業計画の共有 他

■アクティビティ開発認定委員会…2024年2月27日(火) 第3次審査

チャイルドプロテクション

「子どもの心と身体を守る6項目：チャイルドプロテクション6」を公表しました。詳細は、HPまで。



安全のクローバー月間

シェアリングネイチャー活動の安全対策を充実させ、イベント等での事故ゼロを目指す安全月間です。詳細はHPまで。
●期間：2024年10月



シェアリングネイチャーフォトコンテスト

ネイチャーゲームを体験している子どもや大人の様子を撮影した写真のコンテストを実施します！第1回フォトコンテスト応募締切は2025年1月15日(水)。詳細はHPまで。



長野県 松本市
自然体験・かまばの森で遊ぶ会
spot 3

長野県松本市中山の空き地とその裏山で活動する自然学校です。子どもサバイバル教室や「毎週水曜放課後ひろば」(野外学童保育)などを行っています。ネイチャーゲーム体験も折々に盛り込むほか、体験依頼もお受けしています。

鳥取県 八頭郡
ひょうのせん 氷ノ山自然ふれあい館 響の森
spot 4

鳥取県と兵庫県の県境にある氷ノ山のビジターセンターです。森の中でも館の周辺でも、氷ノ山の豊かな自然を感じながらネイチャーゲームができます。散策や登山、スノーシューハイイク、創作体験や館内の展示物を使ったネイチャーゲームも楽しめます。

宮崎県 児湯郡など
フェニックス宮崎 シェアリングネイチャーの会
spot 5

“自ら楽しく笑顔で自然案内”が当会のモットー！川南町の遊学の森での、早春の森散策「春の森でワクワク」や谷川をゴールまで歩く「谷川と遊ぼう 夏の自然発見！」が毎年盛況！下見や谷川の清掃、当日の班付きの指導員参加により、安全第一で実施しています。

全国のネイチャーゲームスポット & 活用団体はこちら

あなたの街のシェアリングネイチャー組織

ネイチャーゲームリーダーがいる施設&団体

ネイチャーゲーム スポットに 遊びたいこう!

秋田県 spot 1
茨城県 spot 2
鳥取県 spot 4
宮崎県 spot 5
長野県 spot 3

秋田県 秋田市
秋田なまはげ シェアリングネイチャーの会
spot 1

全身で季節を感じられる自然豊かな秋田市で活動しています。共にネイチャーゲームを楽しむ子どもたちの感性に刺激をもらったり、会員同士では花見やあじさい寺を散策したり！今年度は伊勢堂岱遺跡を見学する予定で、五感をフルに使って自然を満喫中です。

茨城県 那珂市
ざきキャンプ企画
spot 2

家族の絆を深めるアウトドア企画として、テント設営や火起こしなどの基本的なキャンプワークに加え、ネイチャーゲームなどを取り入れた、家族みんなで取り組む課題解決型・地域化型・家族深化型アウトドア体験「かぞくえ」を展開しています。

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



全国一斉シェアリングネイチャーの日

2024

10/20 日曜日

はっばで遊ぼう!

今年のテーマ
「はっばで遊ぼう!」に合わせて
ネイチャーゲーム指導員
おすすめの
はっば遊びを公開中!



はっば遊び

1

大地の窓



落ち葉に全身を埋めて、横たわります。大地と一体になったかのような感覚を得られるかも!?



はっば遊び

2

ジャンケン
落ち葉集め

ジャンケンをし、勝ったら1枚ずつ違う種類のはっばを拾います。はっばの個性に気づく楽しい活動です。



はっば遊び

3

葉っぱちゃん
あつまれ!

拾った1枚のはっばを観察して、特徴ごとに並んだり、グループを作ったりする活動です。アイスブレイクにもおすすめです!



はっば遊び

4

落ち葉の
百人一首

落ち葉の特徴を「五七五七七」の短歌形式で詠み、詠まれた落ち葉を当てて楽しめます。



はっば遊び 募集中!!

ネイチャーゲーム指導員をはじめ、みなさんが楽しんでいる「はっば遊び」や「はっばのクラフト」などを教えてください! 日本協会 HP・情報誌等で紹介させていただきます。全国の仲間と一緒に、「全国一斉シェアリングネイチャーの日 2024」を盛り上げていきましょう!

●期日: 2024年8月15日(木)

●応募方法: 日本協会 HP 掲載の「はっば遊びシェアシート」に記入して、メール添付にて送ってください。

(送り先) メール kawauso@naturegame.or.jp



じいじ・ばあば・
パパ・ママ・先生・友だち・
先ばいetcの

待ってた!
孝女材の付録!!



SNL-vol.42号
特別付録

「センス・オブ・ワンダー」 インタビュー

さんの「自然との思い出」

(年れい: _____才 私との関係: _____)

インタビュアー (私): _____



子どものころ、まわりにどんな自然がありましたか?

その自然は…



子どものころに野生動物に出会ったことはありますか?
どんな出会いでしたか?

その動物は…

その出会いは…



子どものころの自然遊びを聞かせてください

それは…



いまでも大切にしている「自然とのつながり」はありますか?

それは…

あなたのまわりの“人生の先ばい”に、
「自然との思い出」を
聞いたことはありますか?
子どものころの自然との思い出を
インタビューし、時を超えて
その原風景、原体験を共有しましょう。



シェアリングネイチャーライフ Vol.42 通巻 123 号
発行日 2024年 7月 15日
発行人 日置光久
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-13-17
ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013
メール jimukyoku@naturegame.or.jp

編集: 藤田航平・豊国光菜子・去田ゆかり、校條 真 (風讀社)
デザイン・DTP: 花平和子
表紙イラスト: 矢原由布子
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

編集後記

「自然が好き」の先に描く大切なキーワード
「平和」。追い求め続けることの大切さを改めて
感じた特集でした。この夏、自然との物語を
聞きに祖母に会いに帰ろうと思います(藤田)

設置店募集!

ご連絡ください!

スポーツくじ
WINNER 10000 BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています